

**教育委員  
全会一致で可決**

議会最終日に教育委員の任命につき同意を求めることが提案された。

熊谷徹氏（58歳）は角館町岩瀬168番地に在住。門脇市長は仙北市の教育行政に欠かせない人と提案理由を述べた。

起立採決の結果、議会は全会一致で同意した。（経歴）

- ・昭和49年秋田大学教育学部卒
- ・昭和49年〜平成10年小中学校勤務
- ・平成11年〜22年3月教育事務所勤務



オリンピックのフィギュアスケートに見入る議員各位（控え室）

**バトンタッチ**

今任期を最後に、仙北市議会を去る議員は全部で7人いる。

この4年間は合併前の旧町村に引き続き、仙北市の議員として活躍した方々である。

バトンを受け継ぐ後輩に、明日の仙北市の発展を託して議場を後にした。



門脇 健郎

仙北市の課題は多い。新進気鋭の市長とともに、多くの資源を活かして、市民総参加で、展望を切り開いていただきたい。



浦山 敏雄

仙北市議会の基本条例が決定された。今後はこれを基本とし、更に議会の機能を充実させ、仙北市の「まちづくり」を！



澤田 信男

ボール送り競争というのがある。頭上のボールを落とさぬように受け取り易いように次の人に渡す。まさにその心境だ。



藤原 万正

明治維新以来の変革の時代、「の方向に向かうかが問われる時である。環境に対する意識の高揚を訴え、環境第一の政策に期待します。



田口 勝次

生まれ育った大好きなこの町で、30年もの長い間、議員活動ができたことは私の誇りであり、心から感謝いたします。



平岡 均

26歳で初当選以降、多くの皆様のご支援を得て、重責を果たすことができました。ありがとうございました



戸澤 清

議員の意識と行動により、行政の内容は大きく変わる。これからは協調の時代、開かれた美しい仙北市を目指して欲しい。

**2年間のご愛読  
ありがとうございました。  
ございました。**

**編集後記**

議会だより18号（今回）は、年度の関係で3月31日までに発行しなければならぬという制約がある。通常であれば議会終了後一ヶ月程度あるのだが今回は15日間程しかなかった。

この議会だよりの原稿は広報委員が手分けして書くことになっているので、迫っている4月4日の告示の議会議員選挙の準備はしなければならぬし、議会だよりの原稿も書かなければならぬ。広報委員でない議員は思い通りの選挙準備をしていると思われ、選挙の年の広報委員には、選挙管理委員会から50票位のハンディをつけてもらいたい位の気持ちになる。

現在の広報委員メンバーが編



集に関わったのは11号からなので今回で8回目になる。一時、予算の関係で表紙以外は2色刷りになるし、紙質は落ちるなどで見映えがしない時期もあったが、現在はオールカラーで紙質も良質になったので写真もきれいに刷り上がるようになった。

この号がお手元に届く頃には選挙運動一色になっていることと思う。ご愛読ありがとうございました。